

Zoar[®]

Dynamic Audio Grinder



EarthQuakerDevices[®]

EQDの歪みに興味をもって頂いて有難うございます！このZoar(ゾア)を手を取っているという事はこの新しい歪みへの衝動が抑えられなかった証拠だと思いたすので、早速Zoarの核心に迫りましょう！

ゾアは過去の歪みに敬意を払いながらも、現役のミュージシャンとして常に先を見続けるジェイミースティルマンが開発した新しいディストーションです。パッシブの3バンドEQは各帯域がお互いに作用し合う現代的な設計になっており、単体での使用はもちろん、他の歪みペダルやアンプの歪みとのペアリングで最高の効果を発揮します。

ゾアの歪みはディスクリート回路上で作られており(トランジスタのみで、オペアンプやダイオードではありません!)、歪みを弾くなら誰もが望む通り、アンプ感のやるタッチセンシティブなメディアム/ハイゲインのペダルです。強力なEQセクションを通過して生まれるハイファイで現代的な質感の歪みですが、昔ながらの回路設計が故の懐かしさも混在し、馴染みのある感覚と新しくユニークな歪みが体験できます。

曇りの無い突き抜けるタイトな歪みが欲しければ、ゾアはそれを可能にします。ローゲインのドロップチューニングのギターやベースに合う歪みが必要でしたら、ゾアの歪みに対応します。いろんなシチュエーションでポップな歪みやヘビーな歪み、違うニュアンスでの歪みが必要な時もゾアのフレキシブルな使用感が気に入ってくれると思います。

この小さな筐体から生まれる歪みはLevel、Weight、Gain、Middle、そしてTrebbleで構成されるコントロールで操作します。Flexi-Switch搭載のスイッチを使用してのオンとオフは本体上部の赤いLEDで確認できます。

ゾアのGain幅は軽くブレイクアップするクランチからヘビーにグランドする歪みまで設定が可能です。使用するギターのピックアップはもちろんですが、ゾアの歪みのキャラクターを決定付ける大きな部分はWeightで、EQセクションでの微調整が鍵になります。

歪み回路としては昔ながらの製法で開発しましたが、この3バンドパッシブEQがゾアの質感を現代的な歪みとして出力します。一見シンプルに見えるEQセクションですが、各帯域が相乗効果を生み、単純なカット/ブースト回路には無い細かな音作りを可能にします。以下がゾアのEQを使っでの音作りのポイントになります。

- パッシブEQを採用しているので全ての帯域をゼロに下げると音は出力されません。
- 一つの帯域のノブを動かしても、他の帯域のEQの音の変化に影響します。
- 全ての帯域のノブを同じ方向に設定しても、ゾアのレスポンスは全く違う感触になります。例えば、全てのノブを9時の方向や1時の方向、2時の方向で揃えても、それぞれの設定でのゾアの入力信号に対するレスポンスは同じになりません。

どうですか?かなりフレキシブルな音作りができますよね。音作りを始める際は全てのEQを12時方向に設定し、そこから各帯域を一つずつ動かしてみる事をお勧めします。

3バンドのEQとGainを使っでの痒い所に手が届く音作りはゾアの強みですが、Weightが最終的に音作りの締めとなる鍵を握ってしょう。回路上通過する信号の低音部の量を決定し、最終的な出音のキャラクターに重要な役割を果たします。まずは3バンドのEQを12時方向に設定し、Weightを調整しながらどれくらい音全体に影響を与えるか聞いてみてください。ローゲインのブーストからオーバードライブ、ハイゲインのディストーションからHi-Fi感覚のファズの領域まで広くカバーします。

Levelノブは12時方向に設定する事によって、入力された信号と同等の出力になりますが、他のノブの設定の仕方によって変化します。出力の変化のみならず、ゾアの歪みのキャラクターにも若干影響しますので注意してみてください。3バンドEQとの兼用で(EQで各帯域をブーストしLevelで音を抑えるなど)、昔ながらのローパスフィルターを使用した様な感覚で、広い帯域での音作りが可能になります。

もっと歪みの質にこだわりたい方も居ますよね?それなら是非ゾアを18Vの電源で試してみてください。通常の9Vよりも高い電源を使用する事で、ゾアのフリークエンシーレスポンスとダイナミクスに変化が生まれ、手元のピッキングにさらに素早く反応するはずで、18Vで使用の際はクリーントーンはもっとワイドに、歪みのキャラクターにはさらなるパンチ感が生まれてノートの粒立ちもクリアになります。低音部はタイトに、高音域の再現力も上がり、ペダルの出力は2倍近くに上がります!出力の高いアンプとはまた一味違った感触の歪みになりますので、是非18Vでもゾアをお試しください!

コントロール



LEVEL

出力の調整。



WEIGHT

入力された信号の帯域を調整し、歪みの音色とサチュレーションに変化を付けます。Weightを上げる毎に低音が増し、クリッピングも早くなり低音部分の歪みにも作用するので、タイトなディストーションからルーズなファズ感覚の歪みが生まれます。



GAIN

時計回り方向に上げていくと歪みの量が増えます。トランジスタのバイアスの調整なのでノブを動かすと回路上ノイズが発生しますが故障では有りません。



BASS

パッシブのEQで0 - 800Hzの低音域を+/-15dBの範囲で調整できます。



MIDDLE

パッシブのEQで500Hz - 3kHzの中音域を+/-10dBの範囲で調整できます。



TREBLE

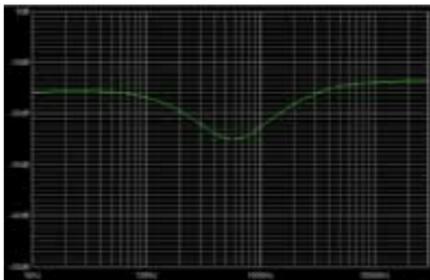
パッシブのEQで1kHz-10kHzの高音域を+/-15dBの範囲で調整できます。



プロのコツ

Bass、Middle、そしてTrebleを12時方向に設定してからの音作りをお勧めします。各EQはとても効果的に効き他の帯域にも影響しますので、各ノブを一つずつ、少しずつ動かしながら音作りをしてみてください。

FREQUENCY RESPONSE



各EQを12時方向に設定した時の周波数表。

フレキシ・スイッチング

この製品にはフレキシ・スイッチ (Flexi-Switch®) 機能が搭載されています。電子リレー方式のトゥルーバイパスで、踏み方の違いによって通常のラッチ式のスイッチとしても、モーメンタリースイッチ (アンラッチ式) としても使用可能です。

- ラッチ方式のスイッチとしての使用の場合は、通常のエフェクターのスイッチの様にオンにしたい時に一回踏み、オフにしたい時にスイッチを再度一回踏み込んでください。
- モーメンタリー方式のスイッチとしての使用の場合は、スイッチを踏み込んでいる間だけエフェクターがオンになり、一度スイッチを放すとオフになります。

電子リレー方式のスイッチを使用しておりますので、電源が供給されなければ入力された信号は出力されません。

アートワーク

Dave Neeson

製品の取扱に関するお問い合わせ先

お客様コミュニケーションセンター ギター・ドラムご相談窓口
営業時間：月～金曜日 10:00～17:00 (土/日曜日・センター指定日除く)
TEL:0570-056-808 (ナビダイヤル) または053-533-5003
URL : <https://jp.yamaha.com/support/>
※都合により、電話番号、名称、営業時間など変更になる場合がございます。

修理に関するお問い合わせ先

ヤマハ修理ご相談センター
営業時間：月～金曜日 10:00～17:00 (土/日曜日・センター指定日除く)
TEL:0570-012-808 (ナビダイヤル) または053-460-4830

輸入販売元

株式会社ヤマハミュージックジャパン LM営業部輸入商品課
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11 TEL:03-5488-5445

電源

消費電流 10 mA

ソアは9Vから18V、ACアダプターで2.1mmのセンターマイナスのアダプターで使用出来ます。デージーチエインやトランス方式でないパワーアダプター等の使用ではノイズが乗る事が有りますので当社では推奨しておりません。



また18V以上出力する電源は使用しないでください!

製品仕様

入力インピーダンス: 1 MΩhm
出力インピーダンス: <10 kΩhm
本体サイズ: 12.07cm x 6.35cm x 5.72cm
本体重量: 0.40 kg

付属品

取扱説明書×1
保証書×1
安全上のご注意×1